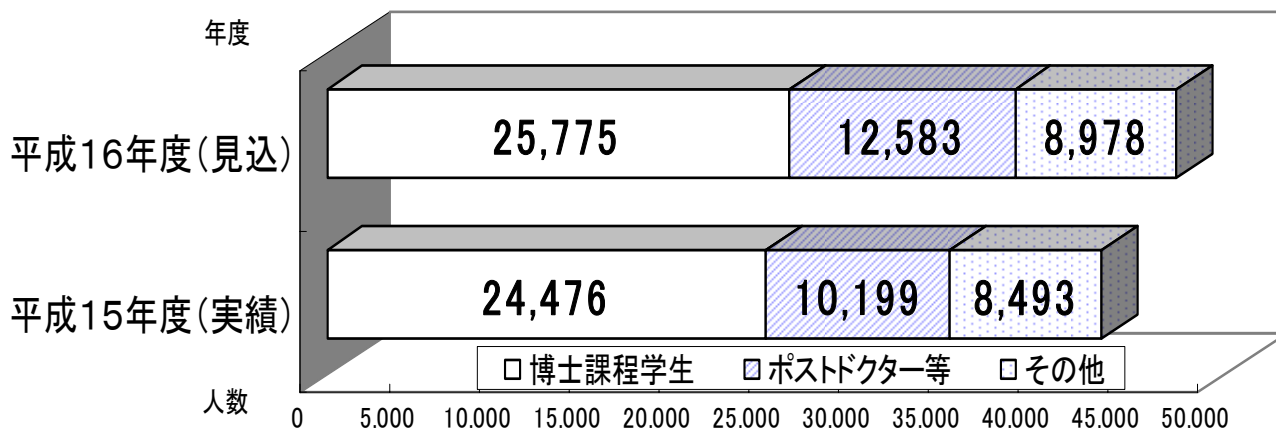


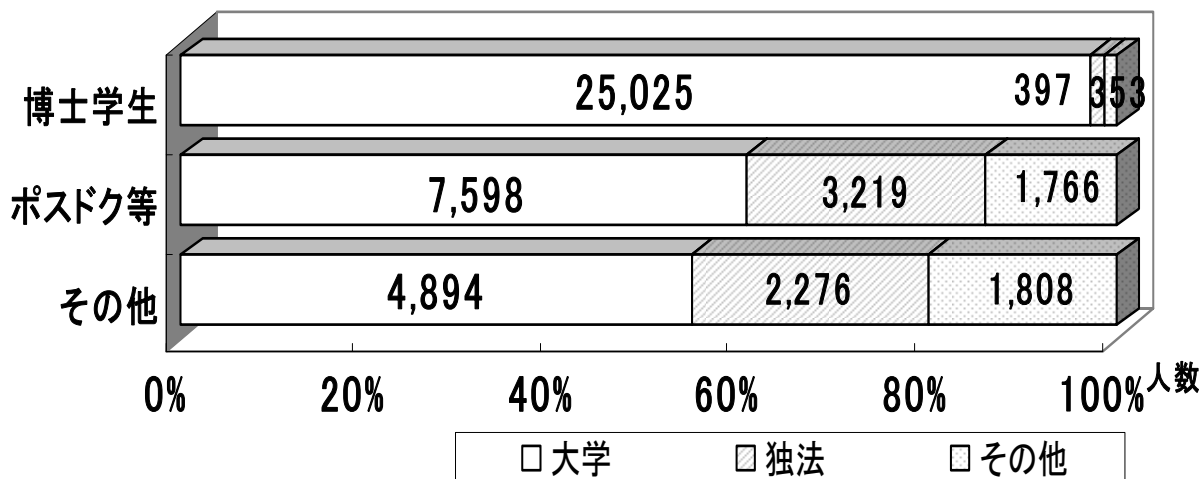
2. ポストドクターの現状① 大学・公的研究機関におけるポストドクター等の雇用状況調査結果

- ・ ポストドクターの人数は、平成16年度見込で12,583人。
- ・ ポストドクの機関別内訳は、大学が約2/3を占める。

第2-1図 ポストドクター等の雇用・支援状況(全体の人数)



第2-2図 ポストドクター等の所属機関別内訳



本調査上の用語の定義

「博士課程学生」

大学院博士課程（後期）に在籍している者のうち、研究活動に従事し競争的資金等から給与・謝金等の対価を受けている者。当該研究機関以外の大学院博士課程に在籍している者を含む。

「ポストドクター」

本調査では、博士号取得後、助手等の職に就いていない者※で、大学等の研究機関で研究業務に従事している者とした。博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上退学した者（いわゆる「満期退学者」）を含む。（※助手・講師等の大学教員や研究チームリーダー、任期を付さない研究員等ではない者を指す。）

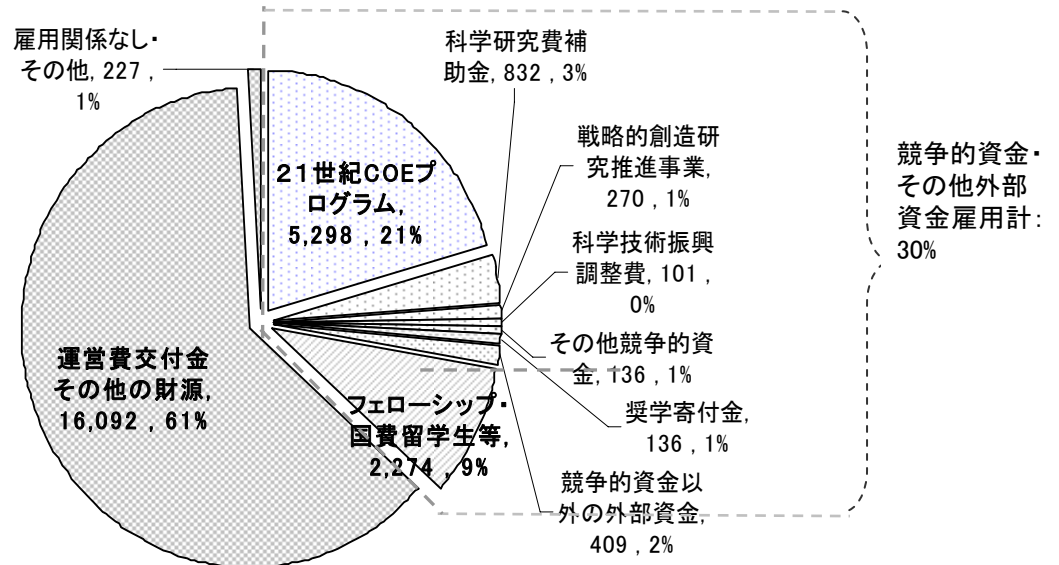
「その他」

学士号・修士号取得者で研究支援を行っている者等、本調査の雇用者に該当する者で、「博士課程学生」「ポストドクター」以外の者とした。

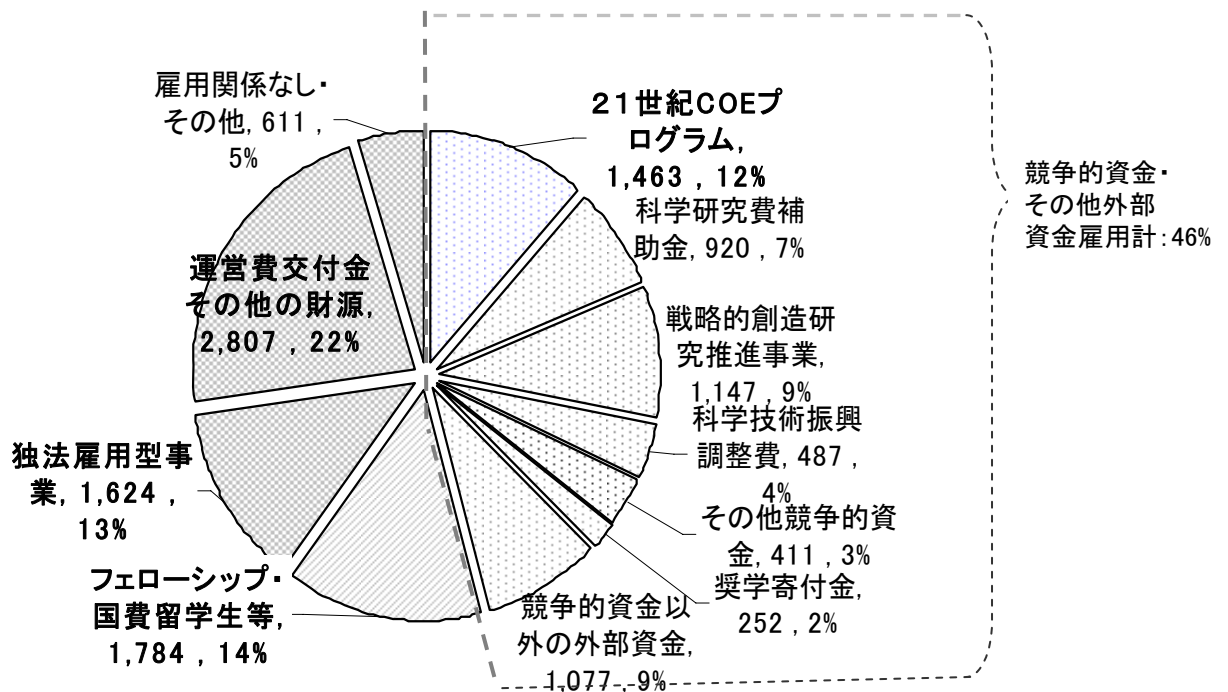
ポストドクターの現状② 大学・公的研究機関におけるポストドクター等の雇用状況調査結果

- ・ポストドク雇用・支援の財源は、競争的資金(科学研究費補助金、21世紀COEプログラム等)、フェローシップ(日本学術振興会特別研究員事業等)など、全体としてさまざまな資金等により雇用・支援されている。

第2-3図 博士課程学生の雇用・支援状況(財源別)



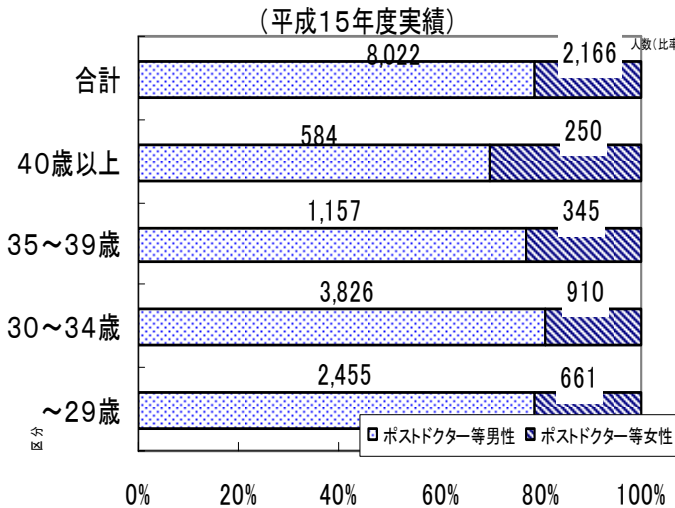
第2-4図 ポストドクターの雇用・支援状況(財源別)



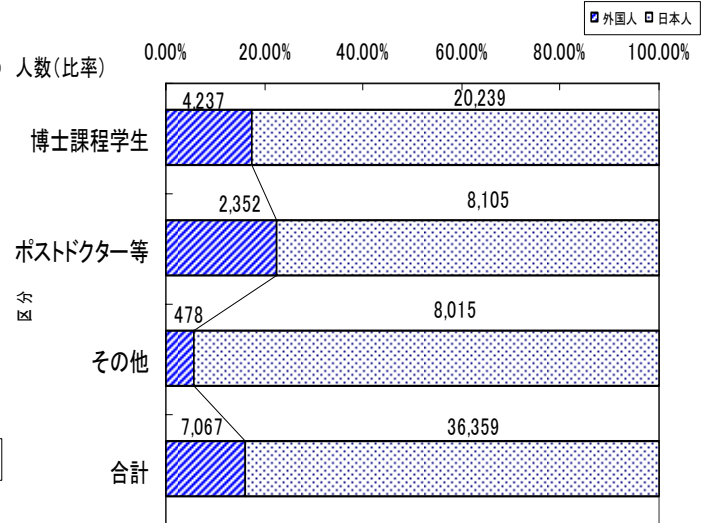
ポストドクターの現状③ 大学・公的研究機関におけるポストドクター等の雇用状況調査結果

- ・ポストドクのうち女性の割合は2割強。年齢が高いほど女性の比率が高い。
- ・外国人ポストドクは全体の2割強。
- ・ポストドクの社会保険(厚生年金、健康保険の雇用者負担対象者)加入率は約5割。
(いずれも15年度実績)

第2-5図 ポストドクターの年齢別・男女別人数



第2-6図 ポストドクター等の外国人の比率

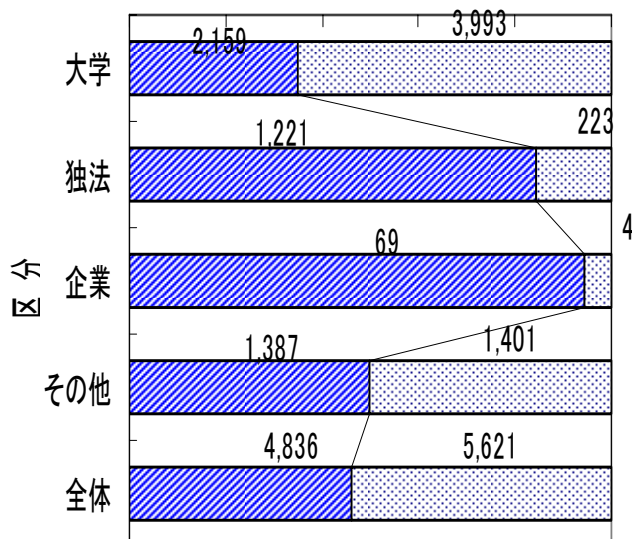


(参考) 大学における女性教員(本務者)比率: **16.0%** (平成16年度学校基本調査)
研究者全体における女性の比率: **11.6%** (総務省平成16年科学技術研究調査)

大学における外国人教員(本務者)比率: **3.4%** (平成16年度学校基本調査)

第2-7図 ポストドクターの社会保険加入率(雇用者負担の対象者数)

人数(比率) (平成15年度実績) 加入者数 非加入者数



被雇用者本人が社会保険(健康保険、厚生年金)に加入している場合の人数。配偶者の被扶養者になっている場合、日々雇用の場合、週あたりの労働時間が常時勤務者の3/4に満たない場合等を除き、常時勤務者でなくても加入しなければならない。また、雇用区分が「フェローシップ・国費留学生等」の場合などは、雇用関係が存在しないため、非加入となる。

(注) 常時勤務者に近い労働時間・日数で研究に従事している人数を把握する目安として調査したもの。